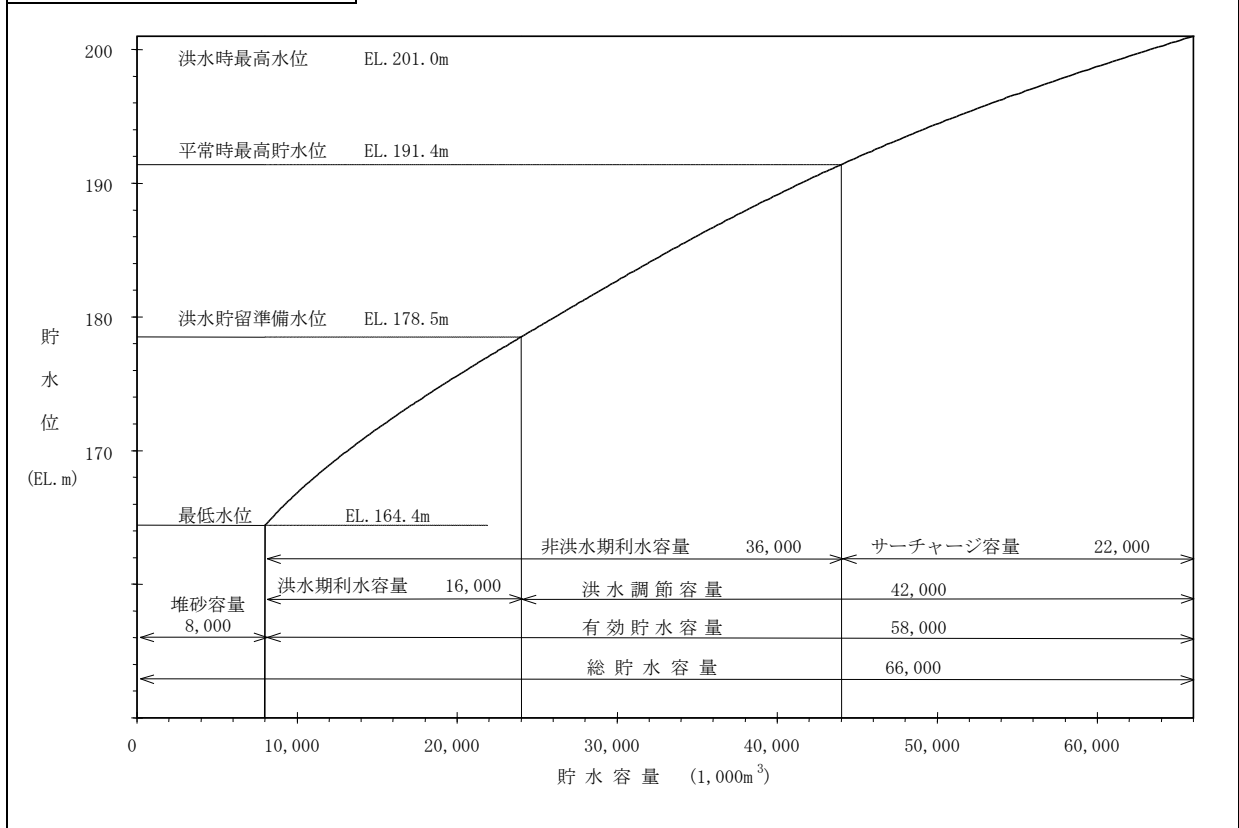


ひよし  
日吉ダム

1. 施設諸元

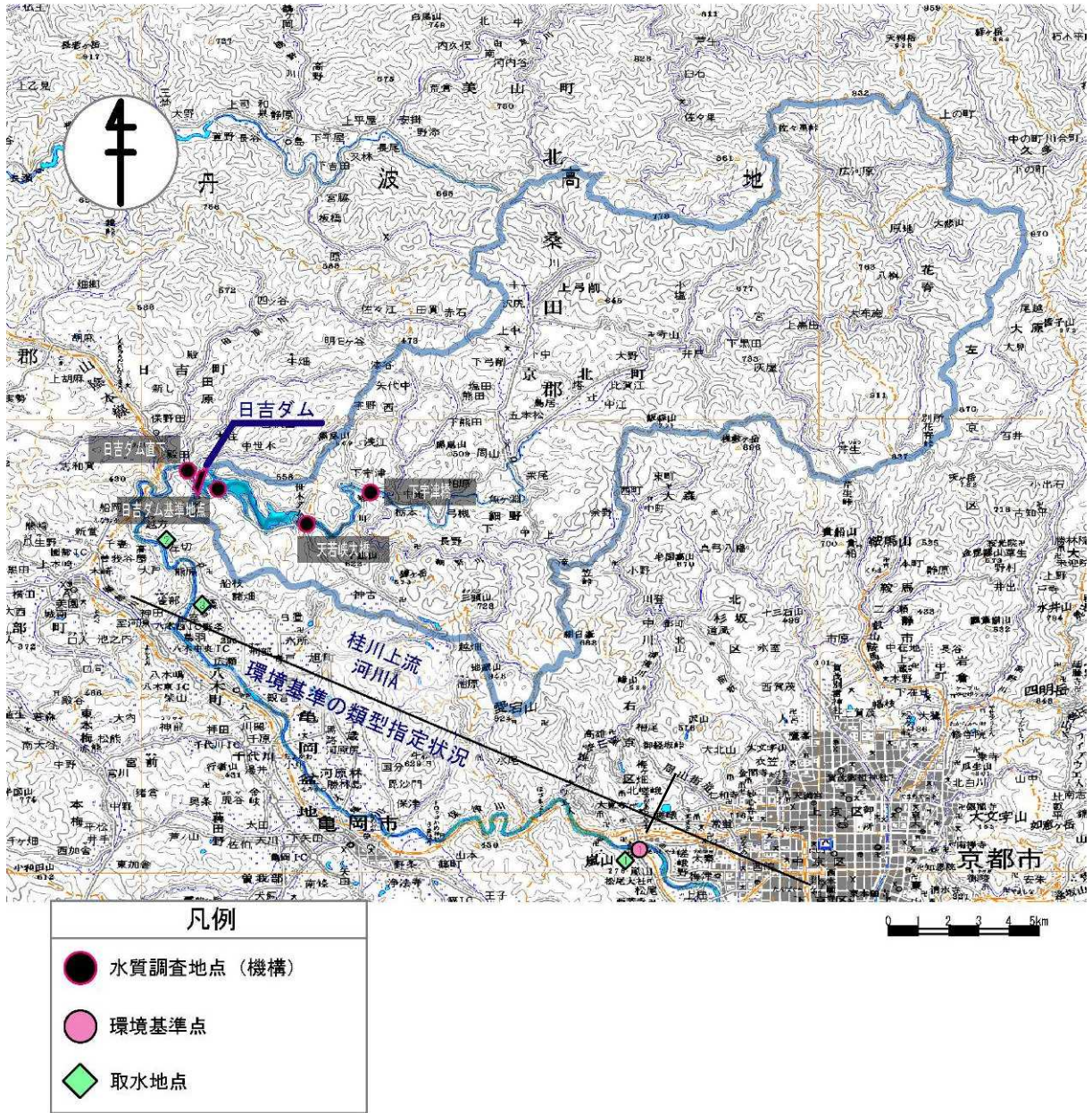
日吉ダム		淀川水系 桂川	
		管理開始：1998年4月1日	
目的			
<p><b>洪水調節</b> ダム地点における流入量が 150m<sup>3</sup>/s に達した後、150m<sup>3</sup>/s の一定量放流を行い、桂川の洪水流量を低減させるものである。</p> <p><b>流水の正常な機能の維持</b> 魚類等の生息環境、水質、景観の保持といった河川環境の保全や舟運、桂川の既得農業用水の安定的取水などのために必要な水量を補給する。</p> <p><b>水道用水</b> 京都府水道用水として最大 1.160m<sup>3</sup>/s、大阪広域水道企業団水道用水として最大 1.576m<sup>3</sup>/s、伊丹市水道用水として最大 0.210m<sup>3</sup>/s 及び阪神水道企業団水道用水として最大 0.754m<sup>3</sup>/s、合計 3.700m<sup>3</sup>/s の取水を可能とする。</p>			
諸元			
河川名	淀川水系 桂川	流域面積	290.0 km <sup>2</sup>
位置	右岸 京都府南丹市日吉町中	湛水面積	2.74 km <sup>2</sup>
	左岸 京都府南丹市日吉町中	湛水延長	13.5 km
型式	重力式コンクリート	平常時最高貯水位	EL. 191.4 m
堤頂長	438.0 m	洪水貯留準備水位	EL. 178.5 m
堤高	67.4 m	最低水位	EL. 164.4 m
堤体積	約 670,000 m <sup>3</sup>	総貯水容量	66,000,000 m <sup>3</sup>
		有効貯水容量	58,000,000 m <sup>3</sup>
		洪水調節容量	42,000,000 m <sup>3</sup>

貯水池水位-容量曲線図



## 2. 水質基本情報

### (1) 水質基本情報図



## (2) 主な取水状況

取水地点	浄水場地点	取水者情報		取水地点	使用用途
1		京都府	乙訓浄水場	桂川右岸（京都市）	水道用水
		大阪広域水道企業団	村野浄水場	淀川左岸（枚方市）	水道用水
		〃	三島浄水場	淀川右岸（摂津市）	水道用水
		伊丹市	千僧浄水場	淀川右岸（摂津市）	水道用水
		阪神水道企業団	猪名川浄水場	淀川右岸（大阪市）	水道用水
2		新庄用水		桂川左岸（南丹市）	農業用水
3		廿丁用水		桂川左岸（南丹市）	農業用水

\* 2、3を除き日吉ダム利水者

## (3) 環境基準点

環境基準点	水域	地点名称	該当類型	機構測定地点
1	桂川上流, 桂川上流(1)	八千代橋	河川A, 河川生物A	
2	桂川上流, 桂川上流(2)	渡月橋	河川A, 河川生物B	

## (4) 環境基準類型指定

日吉ダムがある桂川上流は、河川A類型に指定されている。

また、桂川上流(1)（世木ダムより上流）は河川生物A類型、桂川上流(2)（世木ダムより下流）は、河川生物B類型に指定されている。ダム湖については、環境基準類型の指定がされていないため、流入河川の基準類型と同じA類型の湖沼A類型及び湖沼II類型を参考とする。

## 1) 桂川上流

環境基準 類型区分	類型指定年	項目及び基準値				
		pH	BOD	SS	DO	大腸菌数
河川A	昭和45年	6.5以上 8.5以下	2mg/L以下	25mg/L以下	7.5mg/L以上	300CFU /100mL以下

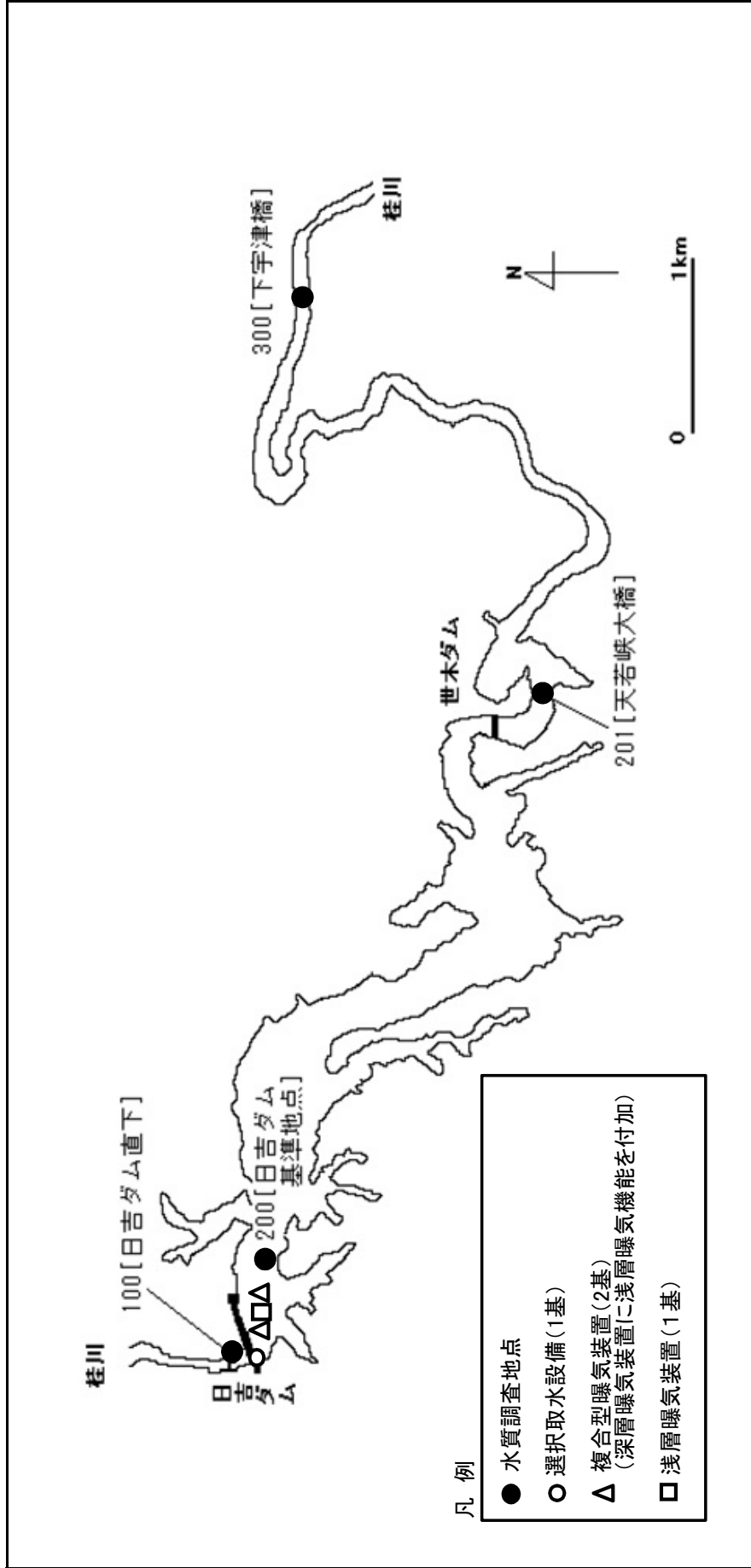
## 2) 桂川上流(1)（世木ダムより上流）及び桂川上流(2)（世木ダムより下流）

環境基準 類型区分	類型指定年	項目及び基準値			備考
河川生物A	平成22年	全亜鉛	ノニル フェノール	直鎖アルキルベンゼン ルン酸及びその塩	桂川上流(1) (世木ダムより上流)
		0.03mg/L 以下	0.001mg/L 以下	0.03mg/L 以下	
河川生物B	平成22年	全亜鉛	ノニル フェノール	直鎖アルキルベンゼン ルン酸及びその塩	桂川上流(2) (世木ダムより下流)
		0.03mg/L 以下	0.002mg/L 以下	0.05mg/L 以下	

## 3) 湖沼A、II類型（参考）

環境基準 類型区分	類型指定年	項目及び基準値				
		pH	COD	SS	DO	大腸菌数
湖沼A	—	6.5以上 8.5以下	3mg/L以下	5mg/L以下	7.5mg/L以上	300CFU /100mL以下
		全窒素	全りん			
湖沼II	—	—	0.01 mg/L 以下			

3. 水質調査の実施状況  
 (1) 水質調査地点位置図



- ・ 下流河川：100番台 (代表地点を100番とする。)
- ・ 貯水池内：200番台 (代表地点を200番とし、補助地点を201とする。)
- ・ 流入河川：300番台 (代表地点を300番とする。)

調査項目		(年測定回数:回)			
		流入河川	貯水池内		下流河川(放流)
項目	調査項目	300	200	201	100
		下宇津橋	ダム基準地点	天若峡大橋	ダム直下
水質	一般項目	透視度	12		12
		透明度		12	
		水色		12	12
		臭気	12	12*	12
		水温	12	12*※	12
		濁度	12	12*※	12
		電気伝導度	12	12*※	12
		酸化還元電位		12*※	
	生活環境項目 (環境基準) など	溶存酸素量(DO)	12	12*※	12
		水素イオン濃度(pH)	12	12*	12
		生物化学的酸素要求量(BOD)	12	12*	12
		化学的酸素要求量(COD)	12	12*	12
		浮遊物質(SS)	12	12*	12
		大腸菌数	12	12*	12
		ふん便性大腸菌群数		12*	
		全窒素	12	12*	12
		全りん	12	12*	12
		全亜鉛		12	
	富栄養化 関連項目	クロロフィルa	12	12*	12
		フェオフィチンa		12*	
	形態別 栄養塩 項目	アンモニア性窒素	12	12*	12
		亜硝酸性窒素	12	12*	12
		硝酸性窒素	12	12*	12
		オルトリン酸態リン	12	12*	12
		溶解性総リン	12	12*	12
		溶解性オルトリン酸態リン	12	12*	12
	水道水源 関連項目	トリハロメタン生成能		4	
		2-MIB		9	
	健康項目	ジェオスミン		9	
		カドミウム		1	
		全シアン		1	
		鉛		1	
		六価クロム		1	
砒素			1		
総水銀			1		
アルキル水銀			1		
PCB			1		
ジクロロメタン			1		
四塩化炭素			1		
1,2-ジクロロエタン			1		
1,1-ジクロロエチレン			1		
シス-1,2-ジクロロエチレン			1		
1,1,1-トリクロロエタン			1		
1,1,2-トリクロロエタン			1		
トリクロロエチレン			1		
テトラクロロエチレン			1		
1,3-ジクロロプロペン			1		
チウラム			1		
シマジン			1		
チオベンカルブ			1		
ベンゼン			1		
セレン			1		
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素			12		
ふっ素			1		
ぼう素			1		
1,4-ジオキサン			1		
底質		強熱減量		1	1
		化学的酸素要求量(COD)		1	1
	全窒素		1	1	
	全りん		1	1	
	硫化物		1	1	
	鉄		1	1	
	マンガン		1	1	
	カドミウム		1	1	
	鉛		1	1	
	六価クロム		1	1	
	砒素		1	1	
	総水銀		1	1	
	アルキル水銀		1	1	
	PCB		1	1	
	チウラム		1	1	
	シマジン		1	1	
	チオベンカルブ		1	1	
セレン		1	1		
粒度組成		1	1		
備考	・生活環境項目など ①12回:毎月測定 ②9回:2月、4月～11月 ③4回:2月、5月、8月、11月測定				
	・健康項目:8月測定 ・底質項目:8月測定				
	・硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素は、形態別栄養塩項目の「硝酸性窒素」と「亜硝酸性窒素」の分析結果にて算出				
	・大腸菌数→1～12月 *:3水深測定項目(表層、1/2水深、底層) ※:計器測定項目(多水深測定)				

## 4. 2023年 水質の概況

### (1) 施設全体の水質の概況

2023年の日吉ダムの水質状況は、流入河川、貯水池内及び下流河川のいずれにおいても、例年と概ね同程度であった。ただし、7月、8月は降雨の影響により、COD、BOD、大腸菌数が高い値を示す地点があった。貯水池内では濁水の影響により10月～12月にかけて貯水池内に濁りが生じたが、長期濁水放流には至らなかった。

### (2) 地点毎の水質の状況

#### 1) 300 下宇津橋（流入河川）

2023年の経月変化を過去5年平均と比較すると、BODは4月、5月、6月、7月、CODは6月、9月、大腸菌数は9月に高い値を示した。その他の項目は、過去5年平均と同程度の値で推移した。

2023年の年平均値又は年間75%値の経年変化をみると、概ね横ばい傾向であった。

2023年の年平均値又は年間75%値及び90%値を環境基準値と比較すると、いずれの項目も環境基準値を満足した。

#### 2) 200 日吉ダム基準地点（貯水池内 表層）

2023年の経月変化を過去5年平均と比較すると、pHは8月、BODは4月、5月、SSは11月、12月、濁度は11月、12月、クロロフィルaは12月に高い値を示した。その他の項目は、過去5年平均と同程度の値で推移した。

2023年の年平均値又は年間75%値の経年変化をみると、概ね横ばい傾向であった。

2023年の年平均値又は年間75%値及び90%値を環境基準値と比較すると、いずれの項目も環境基準値を満足した。

#### 3) 100 日吉ダム直下（下流河川）

2023年の経月変化を過去5年平均と比較すると、pHは8月、BODは4月、5月、8月、濁度は6月、大腸菌数は5月、6月、7月、8月に高い値を示した。SSは7月、濁度は7月、全りんは7月、9月10月に低い値を示した。その他の項目は、過去5年平均と同程度の値で推移した。

2023年の年平均値又は年間75%値の経年変化をみると、概ね横ばい傾向であった。

2023年の年平均値又は年間75%値及び90%値を環境基準値と比較すると、いずれの項目も環境基準値を満足した。

5. 2023年 水質調査結果

(1) 一般項目、生活環境項目、富栄養化関連項目

測定項目	地点名	基準値	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	最小	最大	平均	評価
水温 (°C)	300下宇津橋(流入河川)	-	6.2	4.1	10.1	15.2	22.4	19.4	24.5	27.9	25.5	18.8	12.8	7.1	4.1	27.9	16.2	-
	200貯水池内基準点(表層)	-	7.1	5.0	9.3	14.1	19.7	23.5	27.0	28.6	27.7	20.8	15.9	9.5	5.0	28.6	17.4	-
	200貯水池内基準点(全層)	-	6.6	4.8	6.7	8.5	12.8	15.1	17.1	20.3	20.1	17.5	14.6	9.4	4.8	20.3	12.8	-
	100ダム直下(下流河川)	-	7.2	4.6	8.1	11.0	18.9	18.3	25.4	29.4	27.3	21.3	16.0	9.3	4.6	29.4	16.4	-
水素イオン濃度(pH)	300下宇津橋(流入河川)	6.5~8.5	7.3	7.3	7.4	7.7	7.4	7.5	7.5	7.7	7.8	7.7	7.6	7.5	7.3	7.8	7.5	0/12
	200貯水池内基準点(表層)	6.5~8.5	7.4	7.6	7.4	7.6	7.6	7.7	7.5	9.0	7.5	7.4	7.2	7.5	7.2	9.0	7.6	1/12
	200貯水池内基準点(全層)	6.5~8.5	7.4	7.5	7.4	7.4	7.3	7.4	7.2	7.9	7.2	7.2	7.3	7.5	7.2	7.9	7.4	0/12
	100ダム直下(下流河川)	6.5~8.5	7.5	7.4	7.4	7.5	7.4	7.5	7.5	8.7	7.6	7.4	7.5	7.7	7.4	8.7	7.6	1/12
生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	300下宇津橋(流入河川)	2	0.7	0.5	0.8	1.0	0.8	1.0	1.1	0.6	0.5	0.7	<0.5	<0.5	<0.5	1.1	0.7	○
	200貯水池内基準点(表層)	-	0.5	0.6	1.0	1.2	1.4	1.1	<0.5	1.2	0.5	0.5	0.6	0.6	<0.5	1.4	0.8	-
	200貯水池内基準点(全層)	-	0.5	0.6	0.7	0.8	1.0	0.8	0.5	0.8	0.6	0.5	0.7	0.8	0.5	1.0	0.7	-
	100ダム直下(下流河川)	2	0.8	0.8	0.8	1.2	1.5	0.9	1.2	1.6	0.9	0.8	0.6	0.7	0.6	1.6	1.0	○
化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	300下宇津橋(流入河川)	-	1.0	1.1	1.1	1.5	1.4	3.0	1.6	1.2	2.4	1.9	1.4	1.4	1.0	3.0	1.6	-
	200貯水池内基準点(表層)	3	1.4	1.2	1.0	1.9	1.8	2.0	1.8	2.3	1.6	2.0	1.6	1.8	1.0	2.3	1.7	○
	200貯水池内基準点(全層)	3	1.4	1.2	1.1	1.5	1.8	2.0	1.9	2.4	2.3	2.1	1.9	1.7	1.1	2.4	1.8	○
	100ダム直下(下流河川)	-	1.6	1.2	1.8	2.0	1.6	2.5	2.6	2.0	2.6	2.2	2.0	1.8	1.2	2.6	2.0	-
浮遊懸濁物(SS) (mg/L)	300下宇津橋(流入河川)	25	1	2	1	1	1	3	2	1	2	<1	1	<1	<1	3	1	0/12
	200貯水池内基準点(表層)	5	1	1	2	1	1	<1	1	<1	1	4	5	<1	5	2	0/12	
	200貯水池内基準点(全層)	5	1	1	1	1	3	4	2	19	9	5	7	5	1	19	5	3/12
	100ダム直下(下流河川)	25	1	2	2	2	2	3	2	2	<1	2	5	4	<1	5	2	0/12
濁度 (度)	300下宇津橋(流入河川)	-	4	3	2	2	3	7	3	2	5	2	3	2	2	7	3	-
	200貯水池内基準点(表層)	-	6	7	5	3	7	9	4	7	5	4	16	15	3	16	7	-
	200貯水池内基準点(全層)	-	5	5	4	3	15	30	13	94	52	42	27	17	3	94	26	-
	100ダム直下(下流河川)	-	4	4	4	3	8	17	4	8	3	6	12	10	3	17	7	-
溶存酸素(DO) (mg/L)	300下宇津橋(流入河川)	7.5	12.0	13.0	11.0	10.0	9.2	9.7	8.8	8.4	9.1	10.0	11.0	12.0	8.4	13.0	10.0	0/12
	200貯水池内基準点(表層)	7.5	11.0	12.0	12.0	10.0	10.0	9.6	8.6	9.6	8.3	7.5	6.0	9.1	6.0	12.0	9.5	1/12
	200貯水池内基準点(全層)	7.5	11.0	12.0	12.0	10.0	9.5	8.8	7.6	6.5	5.7	4.0	5.8	8.1	4.0	12.0	8.4	4/12
	100ダム直下(下流河川)	7.5	11.0	12.0	12.0	11.0	9.6	9.7	8.5	8.6	8.4	8.6	9.9	11.0	8.4	12.0	10.0	0/12
大腸菌数 (CFU/100ml)	300下宇津橋(流入河川)	300	7	2	39	4	16	94	46	19	230	16	43	15	2	230	44	○
	200貯水池内基準点(表層)	300	1	1	1	2	<1	3	<1	1	6	2	6	1	<1	6	2	○
	200貯水池内基準点(全層)	300	1	1	1	2	21	15	5	43	18	5	54	1	1	54	14	○
	100ダム直下(下流河川)	300	<1	1	7	7	34	23	43	7	9	2	9	4	<1	43	12	○
全窒素(T-N) (mg/L)	300下宇津橋(流入河川)	-	0.41	0.43	0.38	0.32	0.33	0.40	0.36	0.28	0.30	0.26	0.45	0.36	0.26	0.45	0.36	-
	200貯水池内基準点(表層)	-	0.35	0.37	0.40	0.33	0.30	0.28	0.23	0.36	0.31	0.42	0.37	0.38	0.23	0.42	0.34	-
	200貯水池内基準点(全層)	-	0.34	0.36	0.39	0.38	0.40	0.39	0.39	0.60	0.53	0.53	0.42	0.37	0.34	0.60	0.43	-
	100ダム直下(下流河川)	-	0.36	0.35	0.46	0.41	0.35	0.41	0.35	0.42	0.34	0.46	0.40	0.39	0.34	0.46	0.39	-
全りん(T-P) (mg/L)	300下宇津橋(流入河川)	-	0.008	0.012	0.011	0.009	0.015	0.020	0.013	0.015	0.016	0.010	0.012	0.008	0.008	0.020	0.012	-
	200貯水池内基準点(表層)	0.01	0.007	0.007	0.009	0.006	0.016	0.010	0.005	0.017	0.007	0.007	0.015	0.014	0.005	0.017	0.010	○
	200貯水池内基準点(全層)	0.01	0.007	0.007	0.008	0.005	0.017	0.019	0.009	0.056	0.032	0.019	0.022	0.015	0.005	0.056	0.018	×
	100ダム直下(下流河川)	-	0.006	0.007	0.008	0.005	0.015	0.020	0.009	0.021	0.010	0.010	0.016	0.015	0.005	0.021	0.012	-
クロロフィルa (μg/L)	300下宇津橋(流入河川)	-	<1	<1	<1	<1	<1	2	1	<1	2	<1	<1	<1	<1	2	1	-
	200貯水池内基準点(表層)	-	2	2	4	3	2	2	1	2	1	2	3	4	1	4	2	-
	200貯水池内基準点(全層)	-	2	2	2	2	1	1	1	1	1	2	3	1	1	3	2	-
	100ダム直下(下流河川)	-	3	1	4	2	2	2	4	2	4	2	2	4	1	4	3	-
全亜鉛 (mg/L)	300下宇津橋(流入河川)	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	200貯水池内基準点(表層)	0.03	0.001	0.001	<0.001	<0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.004	0.001	<0.001	0.004	0.001	○
	100ダム直下(下流河川)	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ノニルフェノール (mg/L)	300下宇津橋(流入河川)	0.001	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	200貯水池内基準点(表層)	0.001	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	0.00006	○
	100ダム直下(下流河川)	0.002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LAS(直鎖アルキルベンゼン スルホン酸及びその塩) (mg/L)	300下宇津橋(流入河川)	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	200貯水池内基準点(表層)	0.03	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.0006	○
	100ダム直下(下流河川)	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※日吉ダム湖については、環境基準類型の指定がされていないため、流入河川の基準類型と同じA類型の湖沼A類型及び湖沼II類型を参考とする。



## (2)健康項目

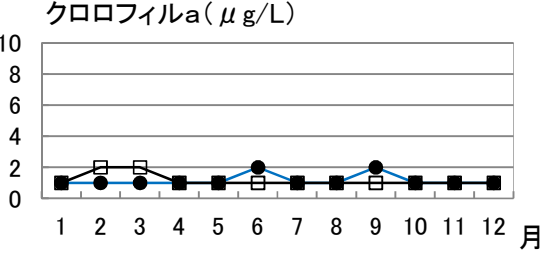
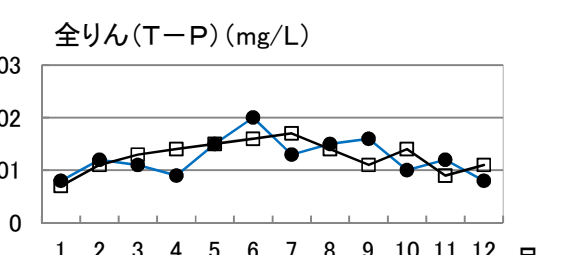
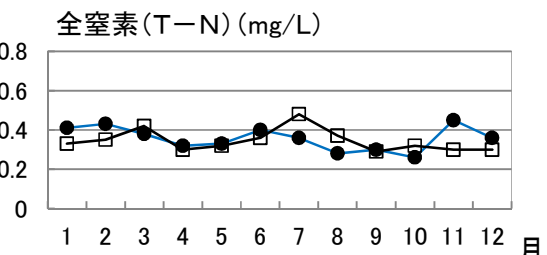
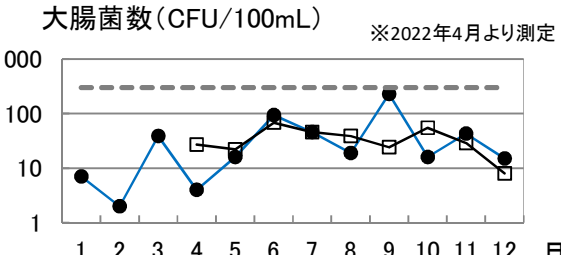
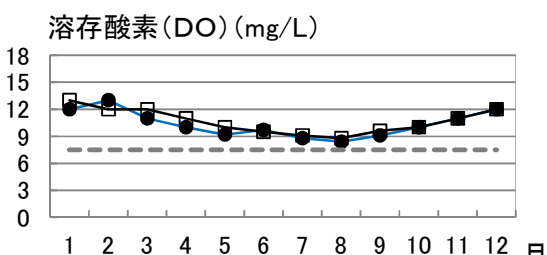
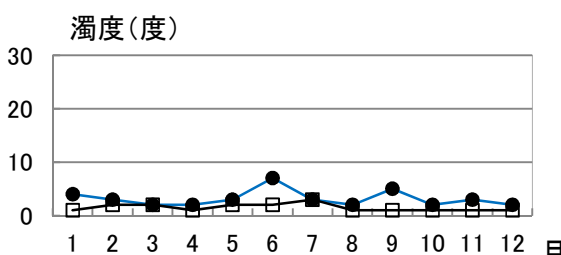
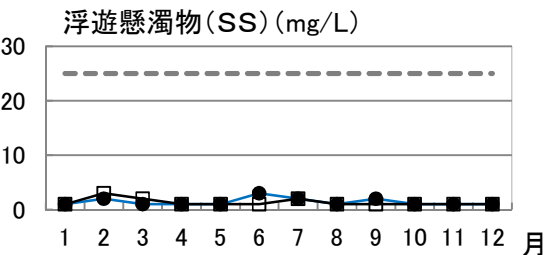
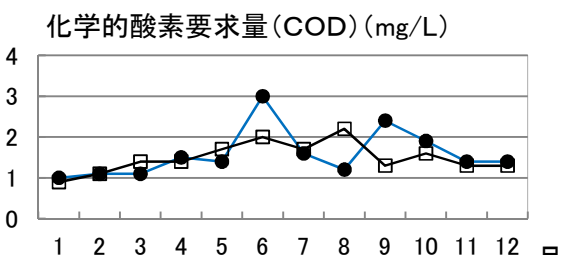
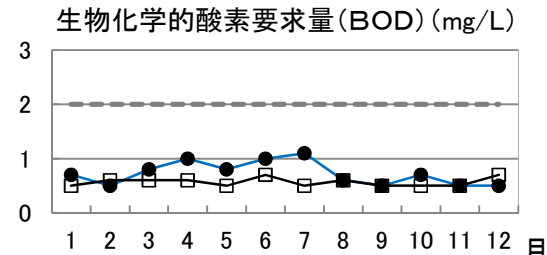
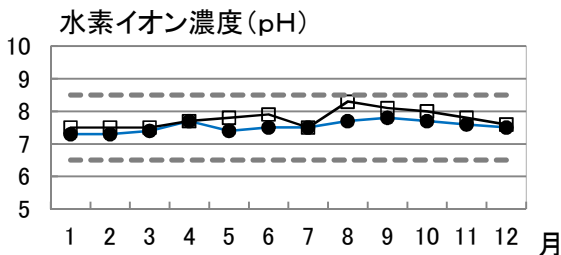
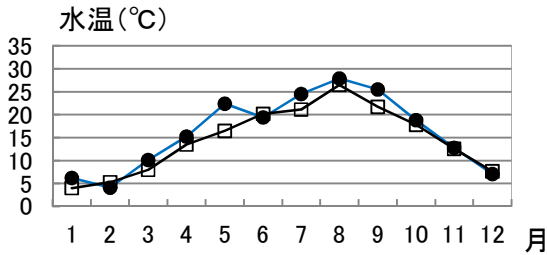
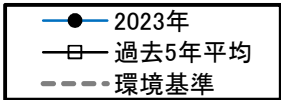
測定項目	環境基準値	地点名	8月
カドミウム (mg/l)	0.003	200貯水池内基準地点	<0.0003
全シアン (mg/l)	検出されないこと	200貯水池内基準地点	<0.01
鉛 (mg/l)	0.01	200貯水池内基準地点	<0.001
六価クロム (mg/l)	0.02	200貯水池内基準地点	<0.001
砒素 (mg/l)	0.01	200貯水池内基準地点	<0.001
総水銀 (mg/l)	0.0005	200貯水池内基準地点	<0.00001
アルキル水銀 (mg/l)	検出されないこと	200貯水池内基準地点	<0.0001
PCB (mg/l)	検出されないこと	200貯水池内基準地点	<0.0001
ジクロロメタン (mg/l)	0.02	200貯水池内基準地点	<0.0001
四塩化炭素 (mg/l)	0.002	200貯水池内基準地点	<0.0001
1, 2-ジクロロエタン (mg/l)	0.004	200貯水池内基準地点	<0.0001
1, 1-ジクロロエチレン (mg/l)	0.1	200貯水池内基準地点	<0.0001
シス-1, 2-ジクロロエチレン (mg/l)	0.04	200貯水池内基準地点	<0.0001
1, 1, 1-トリクロロエタン (mg/l)	1	200貯水池内基準地点	<0.0001
1, 1, 2-トリクロロエタン (mg/l)	0.006	200貯水池内基準地点	<0.0001
トリクロロエチレン (mg/l)	0.01	200貯水池内基準地点	<0.0001
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.01	200貯水池内基準地点	<0.0001
1, 3-ジクロロプロペン (mg/l)	0.002	200貯水池内基準地点	<0.0001
チウラム (mg/l)	0.006	200貯水池内基準地点	<0.0001
シマジン (mg/l)	0.003	200貯水池内基準地点	<0.0001
チオベンカルブ (mg/l)	0.02	200貯水池内基準地点	<0.0001
ベンゼン (mg/l)	0.01	200貯水池内基準地点	<0.0001
セレン (mg/l)	0.01	200貯水池内基準地点	<0.001
ふっ素 (mg/l)	0.8	200貯水池内基準地点	0.02
ほう素 (mg/l)	1	200貯水池内基準地点	0.0
1,4-ジオキサン (mg/l)	0.05	200貯水池内基準地点	<0.005
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	10	200貯水池内基準地点	<1

## (3)底質項目

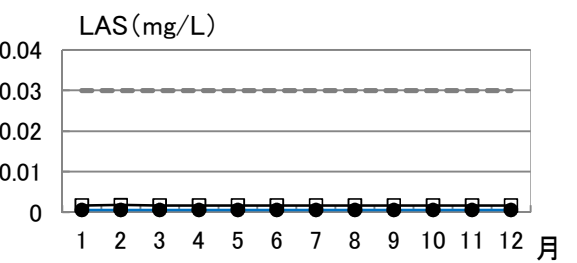
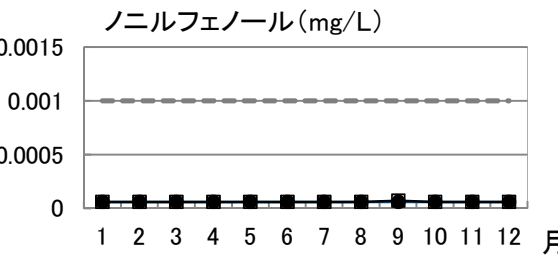
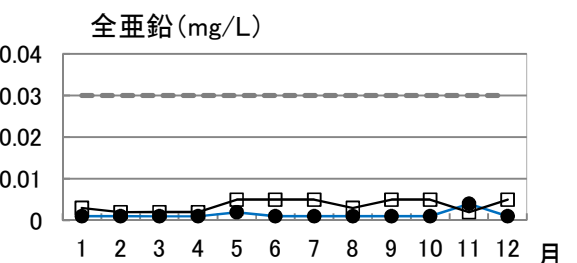
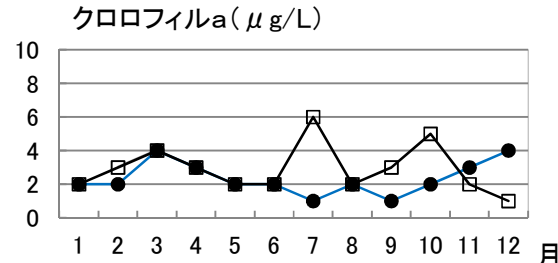
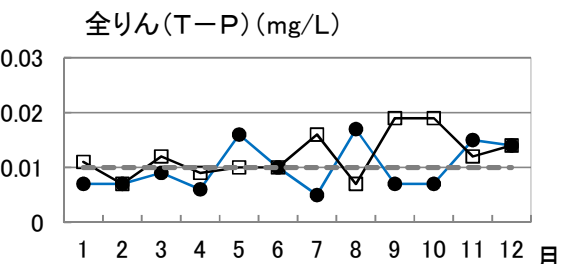
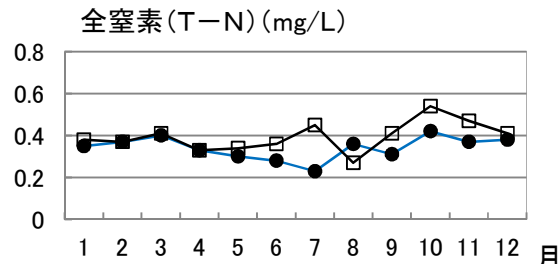
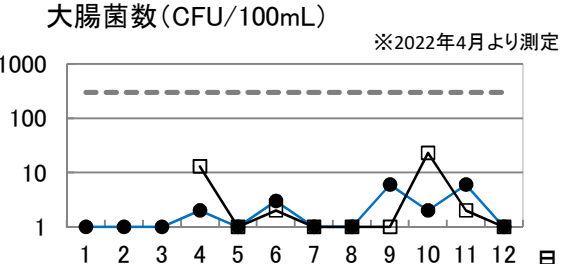
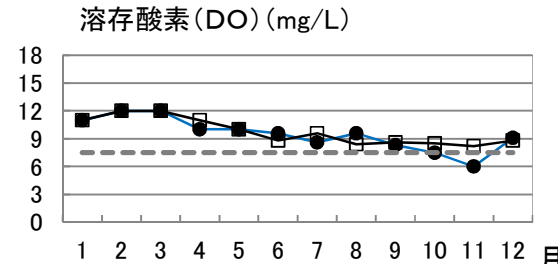
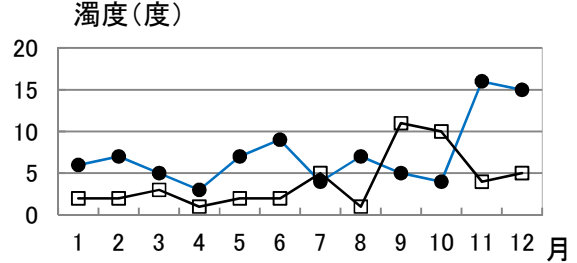
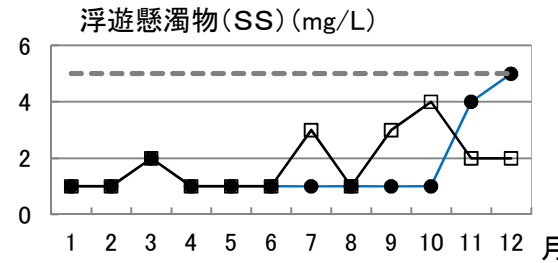
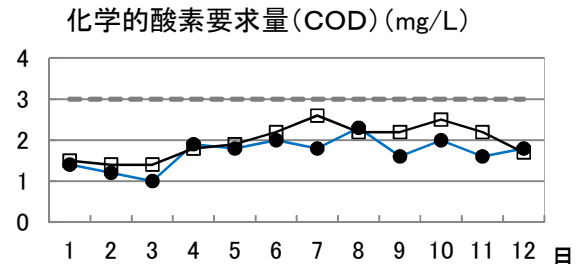
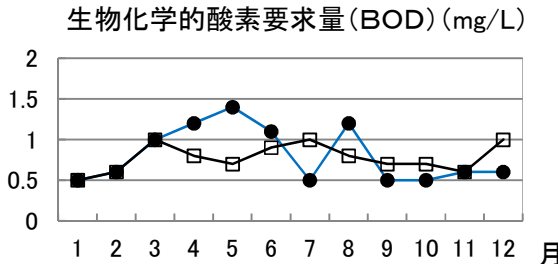
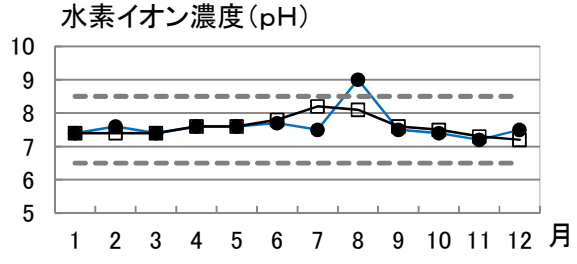
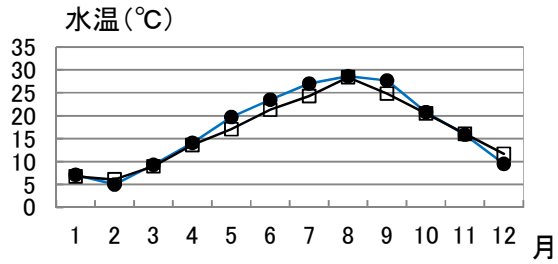
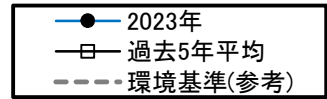
測定項目	地点名	8月	地点名	8月
強熱減量 (%)	200貯水池内基準地点	8.4	201天若峡大橋地点	15.6
化学的酸素要求量(COD) (mg/g)	200貯水池内基準地点	29	201天若峡大橋地点	71
全窒素(T-N) (mg/g)	200貯水池内基準地点	2.3	201天若峡大橋地点	4.2
全りん(T-P) (mg/g)	200貯水池内基準地点	1.07	201天若峡大橋地点	1.20
硫化物 (mg/g)	200貯水池内基準地点	0.04	201天若峡大橋地点	0.02
鉄 (mg/kg)	200貯水池内基準地点	48000	201天若峡大橋地点	64000
マンガン (mg/kg)	200貯水池内基準地点	3000	201天若峡大橋地点	2100
カドミウム (mg/kg)	200貯水池内基準地点	0.22	201天若峡大橋地点	0.34
鉛 (mg/kg)	200貯水池内基準地点	23.6	201天若峡大橋地点	26.8
6価クロム (mg/kg)	200貯水池内基準地点	0.13	201天若峡大橋地点	0.20
砒素 (mg/kg)	200貯水池内基準地点	35.12	201天若峡大橋地点	30.09
総水銀 (mg/kg)	200貯水池内基準地点	0.093	201天若峡大橋地点	0.105
アルキル水銀 (mg/kg)	200貯水池内基準地点	<0.001	201天若峡大橋地点	<0.001
PCB (mg/kg)	200貯水池内基準地点	<0.1	201天若峡大橋地点	<0.1
チウラム (mg/kg)	200貯水池内基準地点	<0.001	201天若峡大橋地点	<0.001
シマジン (mg/kg)	200貯水池内基準地点	<0.001	201天若峡大橋地点	<0.001
チオベンカルブ (mg/kg)	200貯水池内基準地点	<0.001	201天若峡大橋地点	<0.001
セレン (mg/kg)	200貯水池内基準地点	1.60	201天若峡大橋地点	2.80
粒度組成(底質)4.75mm以上 (%)	200貯水池内基準地点	0.0	201天若峡大橋地点	0.0
粒度組成(底質)4.75~2mm (%)	200貯水池内基準地点	1.5	201天若峡大橋地点	0.8
粒度組成(底質)2~0.425mm (%)	200貯水池内基準地点	1.8	201天若峡大橋地点	2.0
粒度組成(底質)0.425~0.075mm (%)	200貯水池内基準地点	6.0	201天若峡大橋地点	28.5
粒度組成(底質)0.075~0.005mm (%)	200貯水池内基準地点	36.6	201天若峡大橋地点	40.0
粒度組成(底質)0.005mm以下の粘土分 (%)	200貯水池内基準地点	54.1	201天若峡大橋地点	28.7

6. 2023年 水質の経月変化

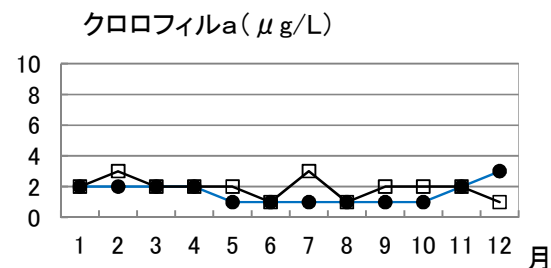
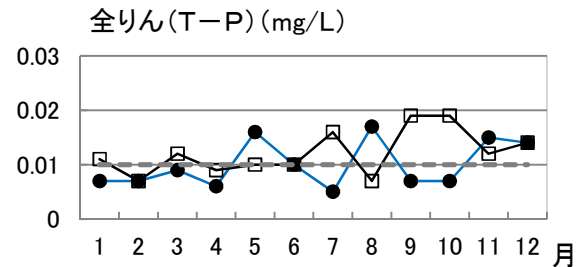
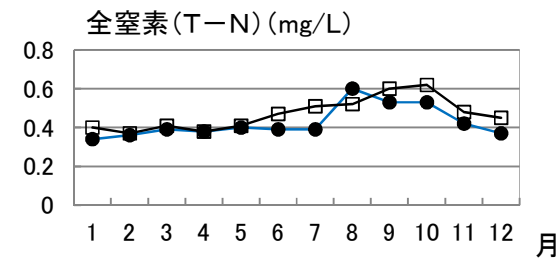
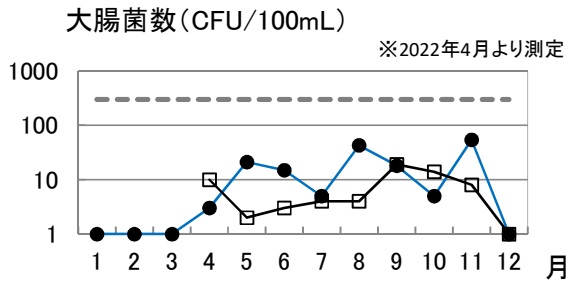
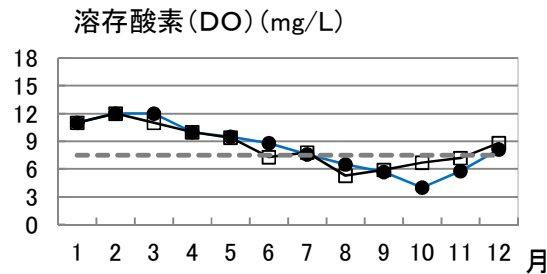
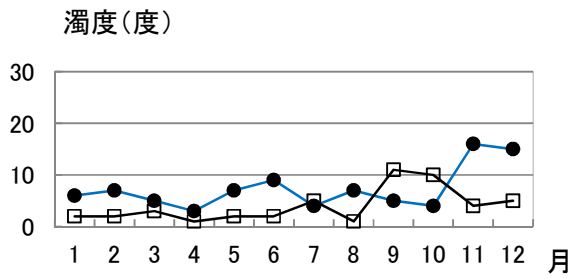
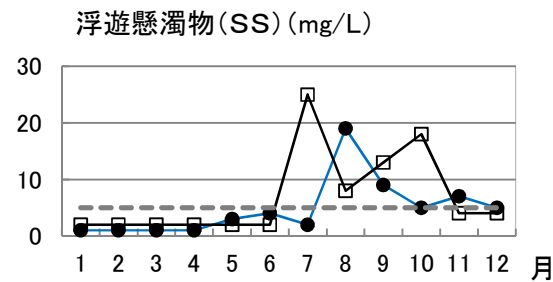
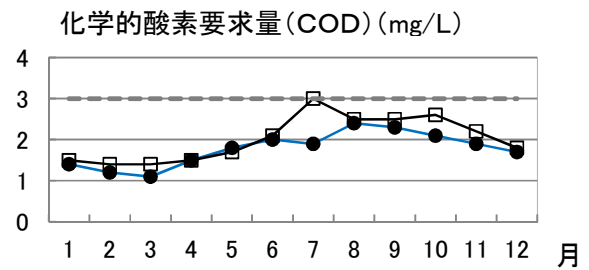
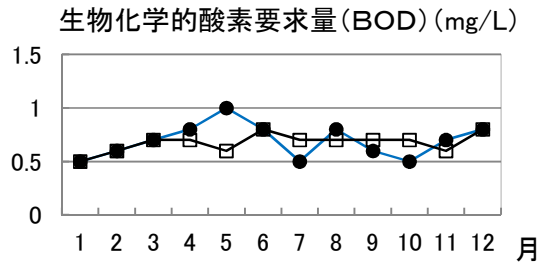
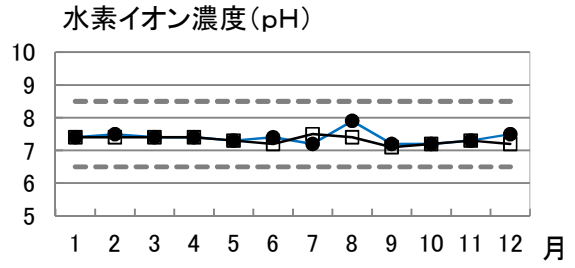
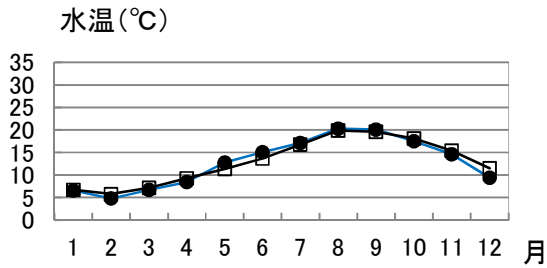
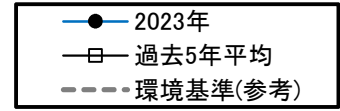
(1) 300下宇津橋(流入河川)



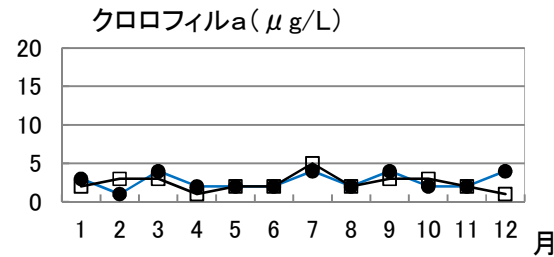
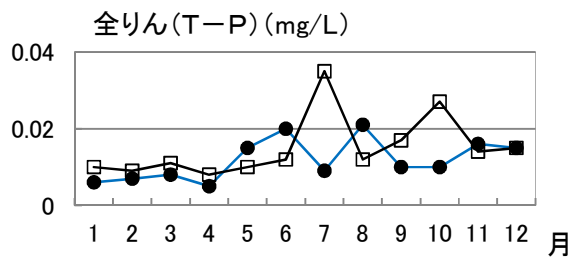
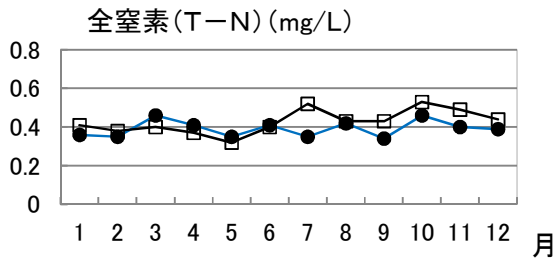
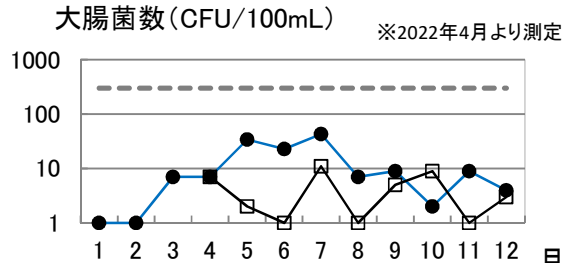
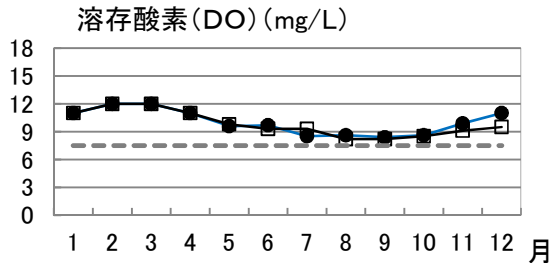
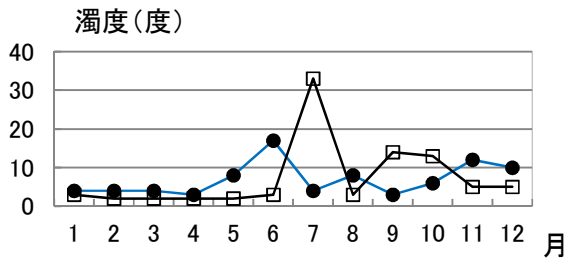
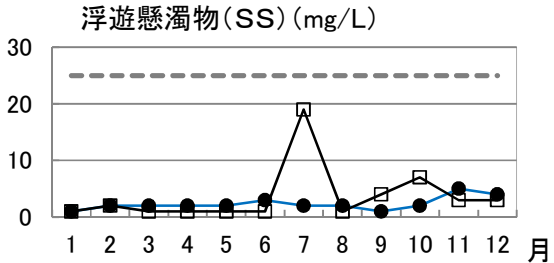
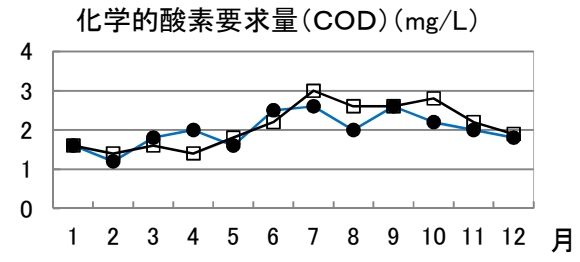
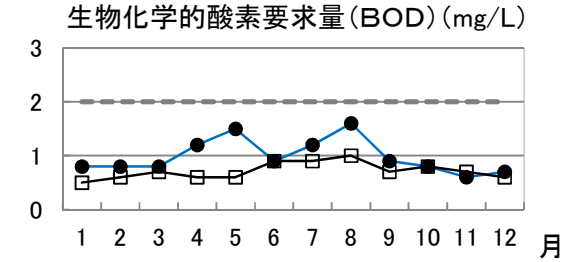
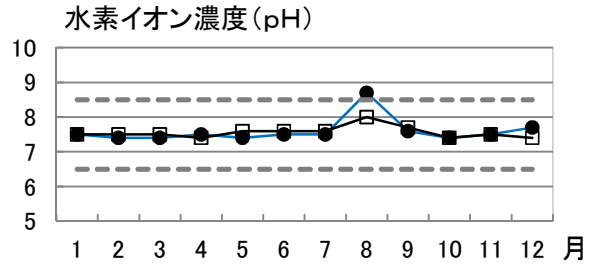
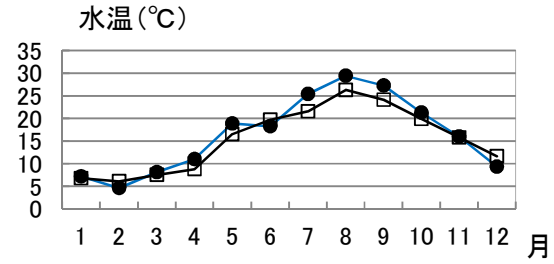
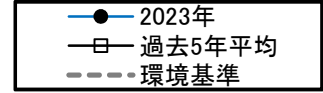
(2) 200貯水池内基準地点 (表層)



(3) 200貯水池内基準地点(全層)

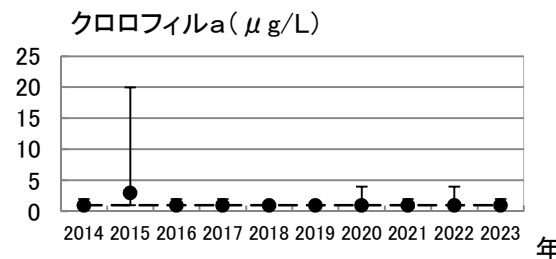
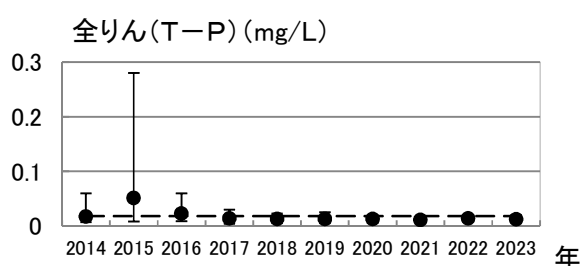
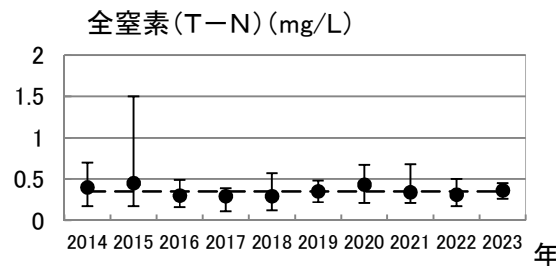
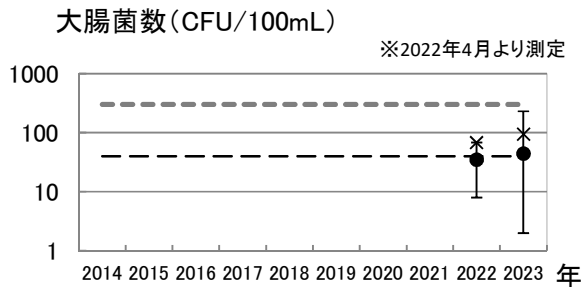
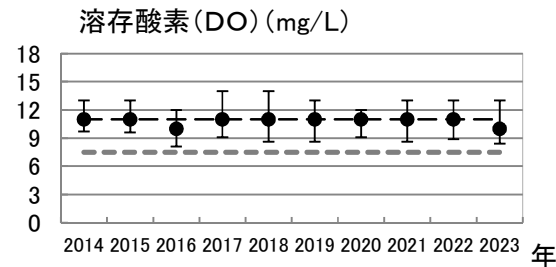
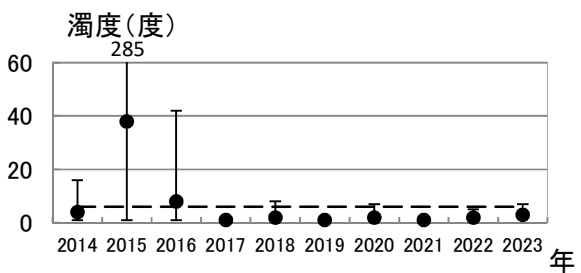
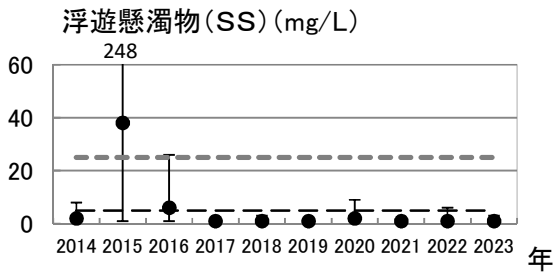
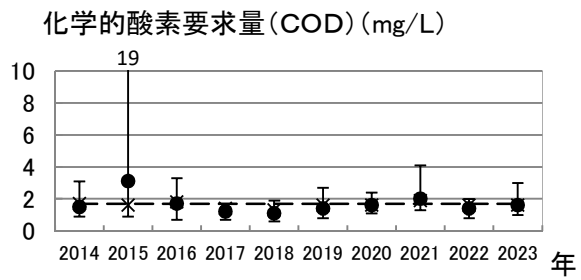
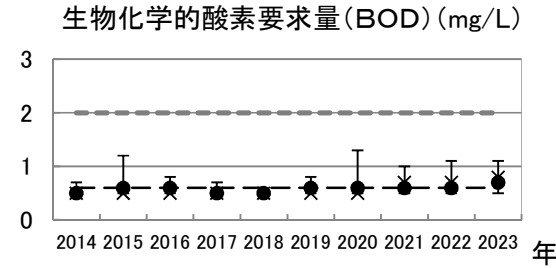
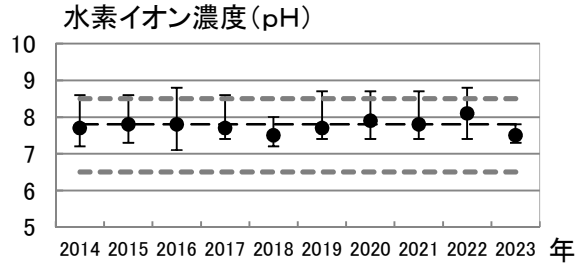
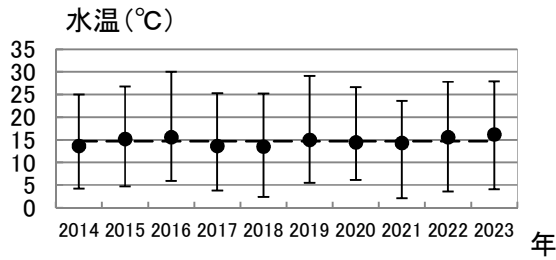
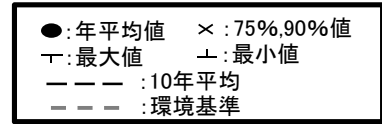


(4) 100ダム直下(下流河川)

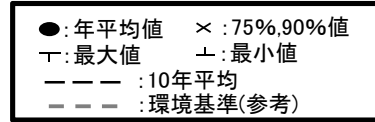


7. 2023年 水質の経年変化

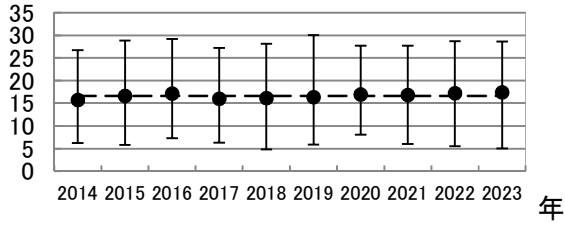
(1) 300下宇津橋(流入河川)



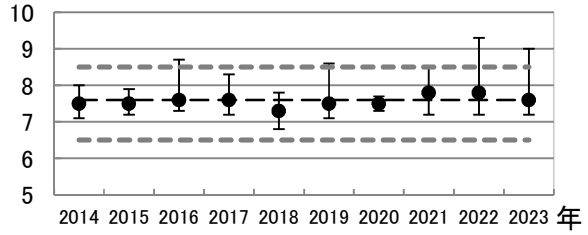
(2)200貯水池内基準地点 (表層)



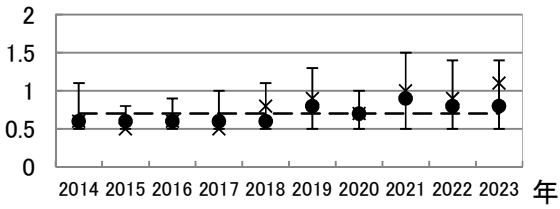
水温(°C)



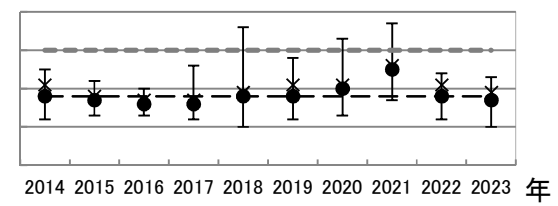
水素イオン濃度(pH)



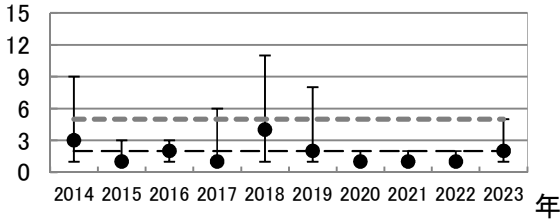
生物化学的酸素要求量(BOD) (mg/L)



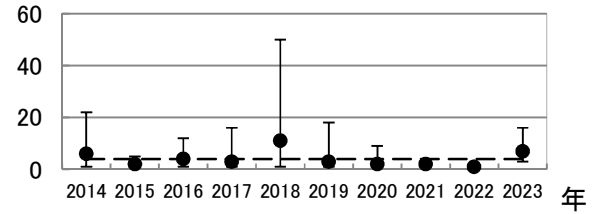
化学的酸素要求量(COD) (mg/L)



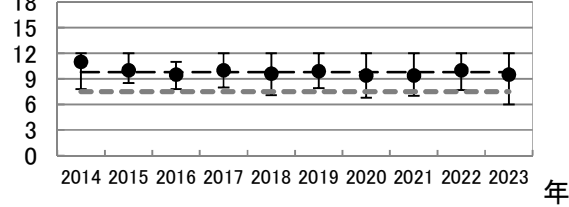
浮遊懸濁物(SS) (mg/L)



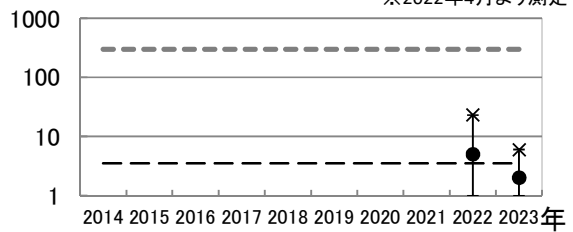
濁度(度)



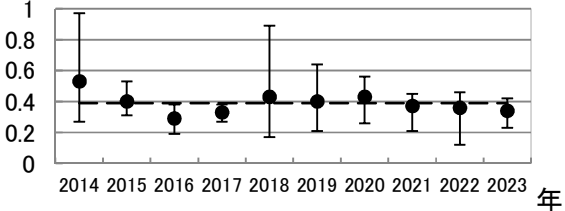
溶存酸素(DO) (mg/L)



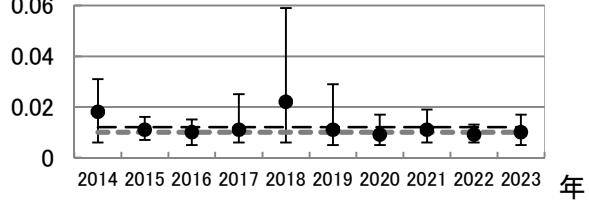
大腸菌数(CFU/100mL)



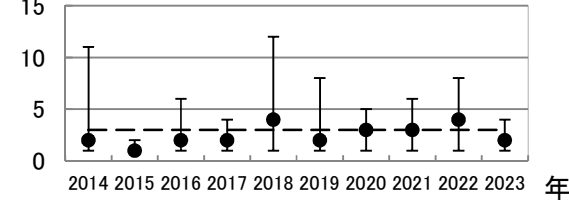
全窒素(T-N) (mg/L)



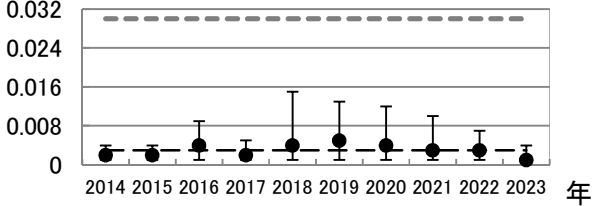
全りん(T-P) (mg/L)



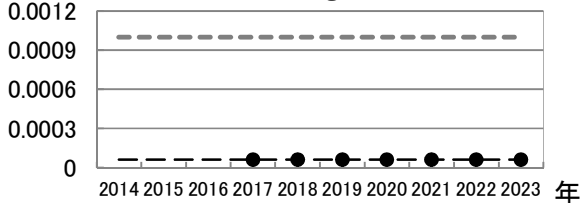
クロロフィルa (µg/L)



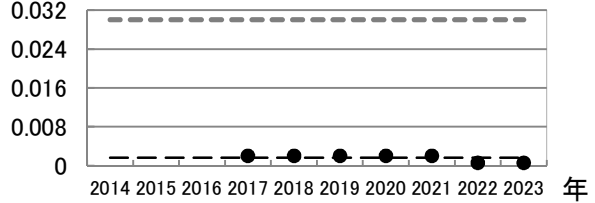
全亜鉛(mg/L)



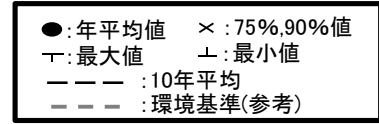
ノニルフェノール(mg/L)



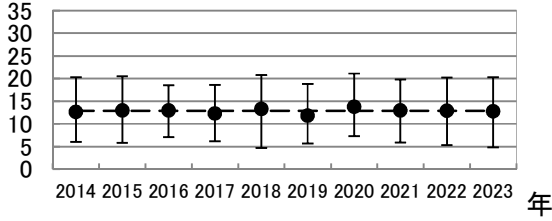
LAS(mg/L)



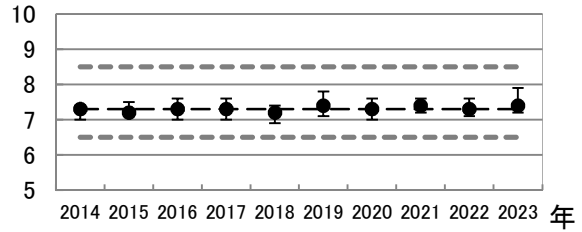
(3) 200貯水池内基準地点 (全層)



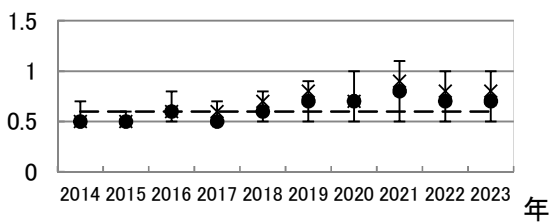
水温(°C)



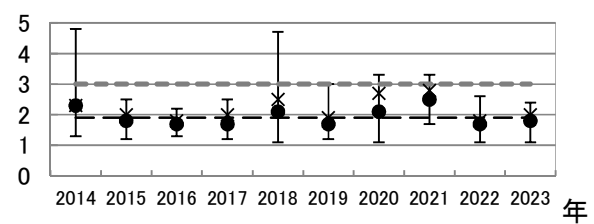
水素イオン濃度(pH)



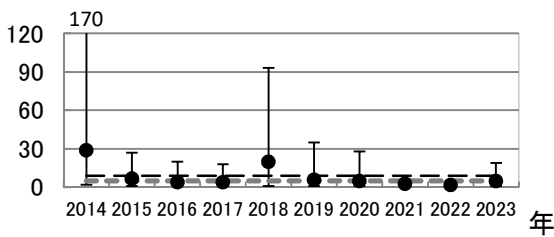
生物学的酸素要求量(BOD) (mg/L)



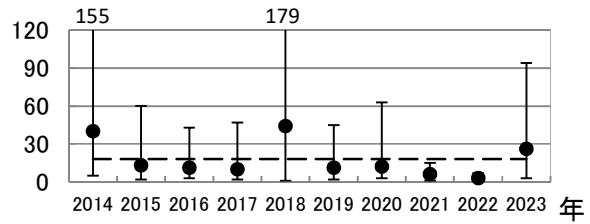
化学的酸素要求量(COD) (mg/L)



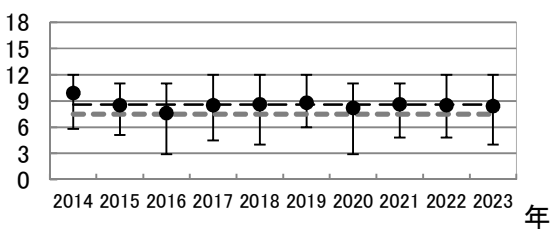
浮遊懸濁物(SS) (mg/L)



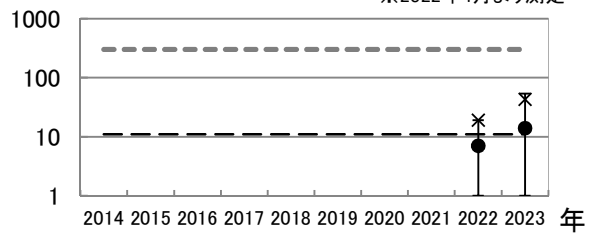
濁度(度)



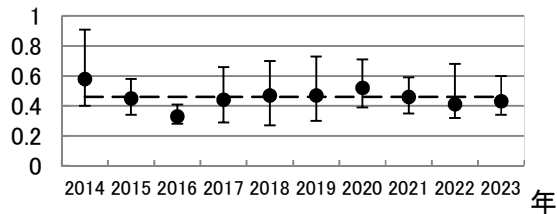
溶存酸素(DO) (mg/L)



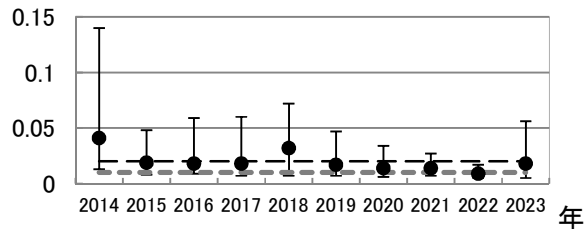
大腸菌数(CFU/100mL)



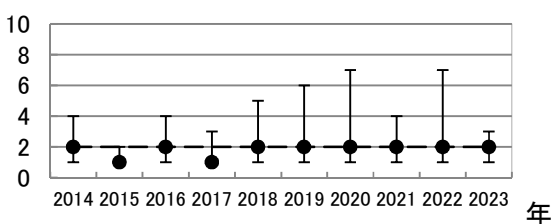
全窒素(T-N) (mg/L)



全りん(T-P) (mg/L)

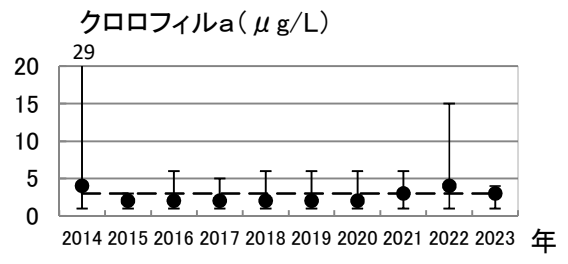
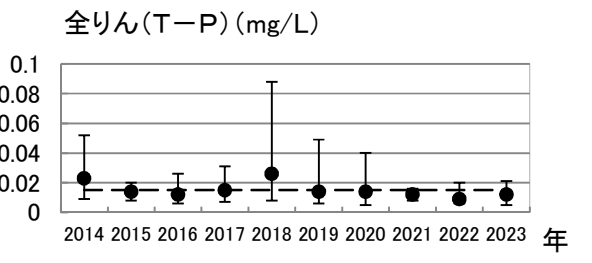
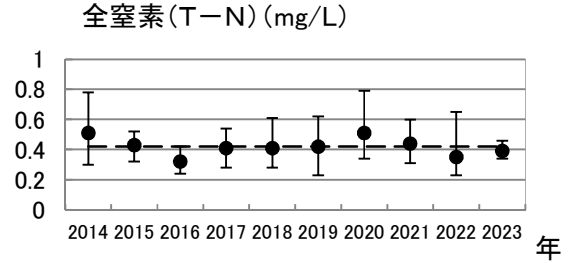
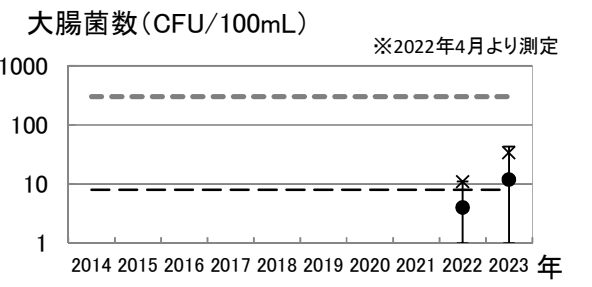
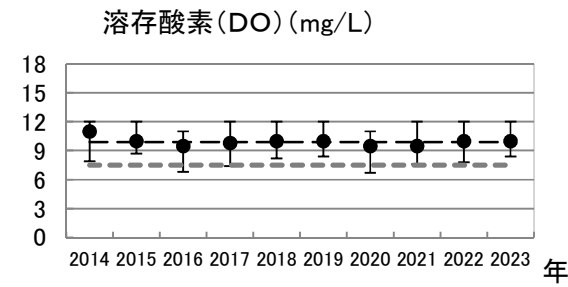
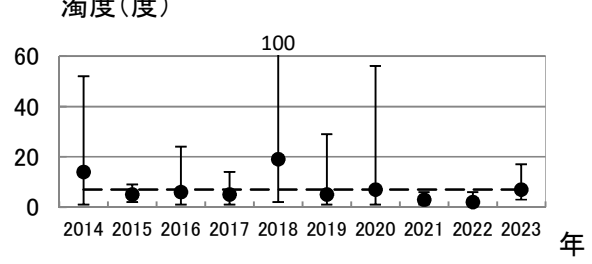
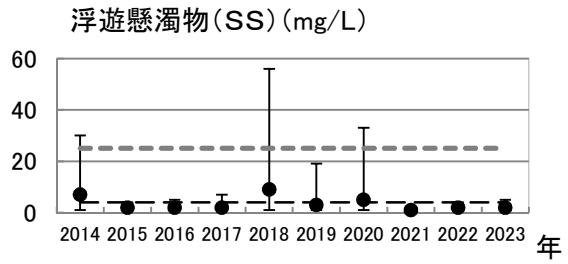
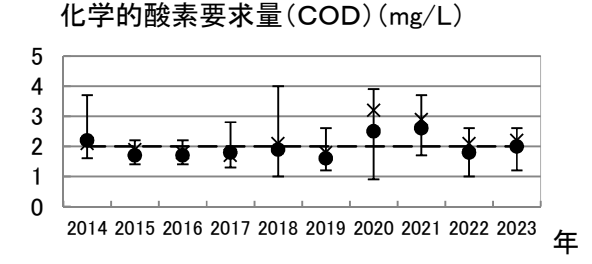
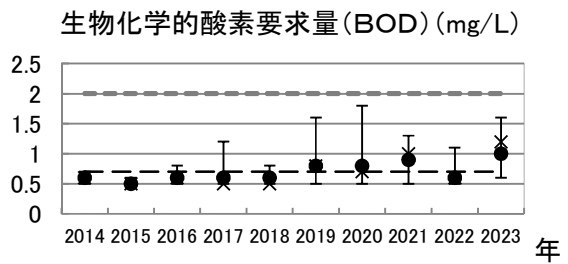
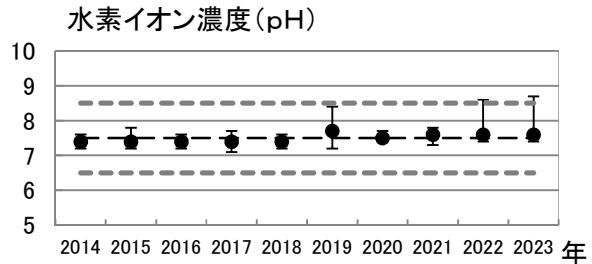
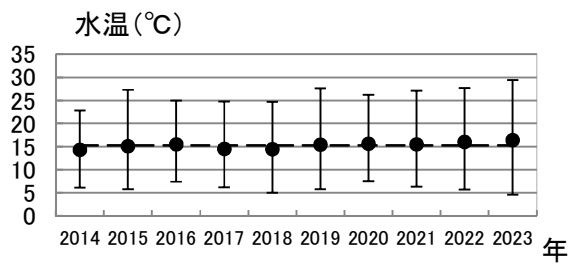
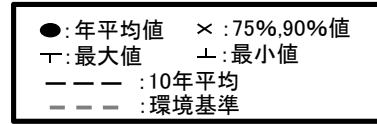


クロロフィルa(μg/L)





(4) 100ダム直下(下流河川)



8. 水質異常の発生状況（日吉ダム）

水質年報として取りまとめを始めた2003年以降における水質異常の発生状況は次図のとおりである。

	水質異常	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2003年	淡水赤潮 その他(水の華)			3/24ペリディニウム		6/10	7/4ラギリ7/22		8/22テイクイオスフェリウム		8/27		
2004年	アオコ 淡水赤潮 濁水長期化			3/2ペリディニウム		6/9	7/21キム/ディニウム		8/6	9/28②アナヘナ	10/19		
2005年	その他(水の華) 濁水長期化		2/1					7/20ホルボックス	8/3				
2006年	淡水赤潮					5/29ウロレナ	6/12						
2007年													
2008年	淡水赤潮			3/24ペリディニウム		5/21							
2009年	淡水赤潮				4/9ペリディニウム	6/5					10/14ペリディニウム	10/29	
2010年	アオコ 淡水赤潮				4/28ペリディニウム	6/4	7/16③	7/23①アナヘナ	8/2				
2011年													
2012年	淡水赤潮				4/20クリプトモナス	4/21							
2013年	濁水長期化									9/16		12/20	
2014年	濁水長期化								8/9	9/7	10/13	11/9	
2015年	濁水長期化							7/18	8/2				
2016年													
2017年	アオコ 濁水長期化									10/11②ミクロキスティス	10/13	10/23	11/12
2018年	濁水長期化							7/7	7/30	8/24		11/8	
2019年	濁水長期化										10/16	10/31	
2020年													
2021年	アオコ										10/5②ミクロキスティス	12/10	
2022年	淡水赤潮				4/11ペリディニウム	4/28							
2023年													
凡例	<p>発生期間・規模(アオコ、淡水赤潮、水の華)</p> <p>..... 小規模(部分的)</p> <p>===== 中規模(貯水池半分程度)</p> <p>————— 大規模(貯水池全体)</p> <p>発生期間(異臭味、濁水長期化)</p> <p>アオコの代表的なレベル(集積の状況)</p> <p>② レベル2 うっすらとすじ状にアオコの発生が認められる</p> <p>③ レベル3 アオコが水の表面全体に広がり、所々パッチ状になっている</p> <p>④ レベル4 膜状にアオコが湖面を覆う</p> <p>⑤ レベル5 厚くマット状にアオコが湖面を覆う</p> <p>⑥ レベル6 アオコがスクラム状(厚く堆積し表面が白っぽくなったり青の縞模様になることもある)に湖面を覆い、腐敗臭がする</p>												

## 9. 水質保全設備

施設区分	選択取水設備
形式	円形多段式ローラーゲート 1門 ・寸法 $\phi 2.7\text{m} \times 26.8\text{m}$ (全伸時) ・段数 4段 ・取水蓋 有り ・取水範囲 EL.191.4m～EL.173.0m ・選択取水量 $27\text{m}^3/\text{s}$ (上記、取水範囲内における最大取水量) ・最大取水量 $50\text{m}^3/\text{s}$ (底部取水)
設置目的	冷濁水対策
設置時期	1996年度
施設構造等	
2023年 運用実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1/1～4/27 温水層温存のため、底部取水</li> <li>・4/28～10/18 表層取水(水深約2m)を基本としながら、出水時には底部取水</li> <li>・10/19～12/31 貯水位がEL.173.0mまで低下したため、底部取水</li> </ul>

<p>施設区分</p>	<p>浅層曝気設備</p>
<p>形式</p>	<p>散気式浅層曝気循環装置 1基                  ・気泡吐出標高 EL.157.0m(固定)                  ・コンプレッサー 15kW×1基(複合型曝気装置予備コンプレッサーを代用)                  ・吐出空気量 0.5Nm<sup>3</sup>/min×1基</p>
<p>設置目的</p>	<p>取水位低下に備えた冷水放流対策</p>
<p>設置時期</p>	<p>1999年度 1基                  ※ 2000年度に散気装置位置の変更を実施</p>
<p>施設構造等</p>	
<p>2023年 運用実績</p>	<p>運用実績無し</p>

<p>施設区分</p>	<p>複合型曝気装置(深層曝気装置に浅層曝気循環機能を付加)</p>
<p>形式</p>	<p>水没式複合型曝気装置 2基                  ・外筒径 φ 2,200mm                  ・内筒径 φ 1,000mm                  ・全長 16.0m                  ・循環水吸込口水深: EL.151.2m(1号)/EL.152.4m(2号)                  ・循環水吐出口水深: EL.158.5m(1号)/EL.159.7m(2号)                  ・余剰空気吐出口水深: EL.167.2m(1号)/EL.168.4m(2号)                  ・コンプレッサー 15kW×2基(交互運転)                  ・吐出空気量(最大):1号機 1.4m<sup>3</sup>/min、2号機 1.4m<sup>3</sup>/min</p>
<p>設置目的</p>	<p>貯水池底層部の嫌気化に伴う硫化水素発生抑制対策 (深層曝気)                  取水位低下に備えた冷水放流対策 (浅層曝気)</p>
<p>設置時期</p>	<p>1997年度 2基 (深層曝気装置)                  ※ 1999年度に散気装置の改良を実施                  ※ 2008年度に2号基、2010年度に1号基の深層曝気装置を複合型曝気装置(浅層曝気機能を付加)に改造                  ※ 2011年度から複合型曝気の全基運用を開始</p>
<p>施設構造等</p>	
<p>2023年運用実績</p>	<p><b>【深層曝気】</b>                  底層の嫌気化抑制のため、下記の期間で運用を実施                  ・4/28~5/9、5/18-6/2、6/27-7/14、7/18-8/16</p> <p><b>【浅層曝気】</b>                  冷水放流対策のため、下記の期間で運用を実施                  ・4/28~5/9、5/18-6/2、6/27-7/14、7/18-8/16</p>